

# キャリア形成学科カリキュラムマップ(2019年度以降入学生対象)

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量(授業内外の 学修活動の総和)全体を100とし たときの配分	ディプロマポリシーの項目番号											
				凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで											
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
キャリア形成学科ディプロマポリシー	1. 知識・理解	①女性の多様な生き方・働き方と就労に関する諸問題を理解している。 ②社会、文化、人間に関する幅広い知識に基づき、多様性の価値を理解することができる。 ③企業や公共組織の経営資源と、それらのマネジメントに関する基礎的な知識と技法を理解している。													
	2. 汎用的能力	④情報リテラシーを身につけ、日本語及び外国語を用いて的確に読み書きし、他者の話を聞き、自らの考えを他者に効果的に伝えることができる。 ⑤現代社会の諸問題について論理的に考え、解決方法を見出すことができる。 ⑥プロジェクト・マネジメントの技法を活用できる。													
	3. 態度・志向性	⑦建学の精神「真実心」を理解し、他者と共生しながら自立することができる。 ⑧自己のキャリア形成の実現のため、生涯にわたって学び続ける力を身につけている。 ⑨セルフマネジメント力(自己管理能力)及びチームマネジメント力(チームで協働する力)を身につけている。													
	4. 統合的な学習経験と創造的思考力	⑩ビジネスや地域の課題を解決するための実践力及び新たな価値を生み出す創造的思考力を身につけている。													
女性の生き方・働き方	女性を取り巻く社会環境と多様なキャリアを知る	1. 他者の生き方を好意的に受け入れる力を身につける 2. 女性を取り巻く社会環境を理解する 3. キャリアビジョンをまとめる	60 20 20	◎ ◎	○										
女性と現代社会	女性を取り巻く社会の現状を理解し、キャリア形成に必要なスキルを身につける	1. 女性の現状をデータに基づき理解する 2. 女性を取り巻く法律を理解する 3. 男女共同参画の理念を理解し活用することができる	40 30 30	◎ ◎				◎							
女性と経済	女性が自らの生涯設計をたてていくために必要となる経済および金融に関する知識を学ぶ	1. 収支管理の必要性を理解し、かつ、ライフプランの実現のために不可欠な資金計画の基本を理解している。 2. 基礎的な金融知識を持ち、金融商品を適切に利用選択できる 3. Excelを用いて、「家計のバランスシート」、「家計のキャッシュフロー表」を作成できる。また、金利計算ができる。	40 20 40	◎ ○	○		◎						○		
女性とビジネス	自己理解、産業/企業理解、社会理解を深め、キャリアを描く	1. 女性が活躍できるビジネス分野を理解する 2. ライフスタイルとビジネスとの関わりを理解し自分の適性を考える 3. 働くうえで必要な力を理解し、経験に基づくアピール文にまとめることができる	20 40 40	◎		○		◎					○		
女性のキャリア形成	自己理解、キャリア理解、仕事理解を通じてキャリアイメージを獲得する	1. 決められた条件で自己紹介をまとめ、周囲に的確に伝えることができる 2. 自分の長所・短所を理解し、モチベーションを維持する 3. 目標達成に向けた具体的な行動計画をたてて実行する	40 30 30				◎						◎		
キャリアサポート	就職活動に必要な知識を身につける	1. 就職試験(筆記試験)に対応できる知識を身につける 2. 就職活動の進め方を理解する 3. 自分の将来設計にあわせた職業を選択できる	60 20 20		◎			○	○						
女性のアントレプレナーシップ	女性の視点で事業創造・実践に関する概念や関連知識を幅広く学び「企業家精神」を養う	1. 経営資源・投資対効果といった事業創造や実践に必要な関連知識を理解できる 2. 新たなビジネスアイデアの発想に繋げるための視点や必要な知識を理解できる 3. 企業家として求められる意識や精神がどういったものであるかを理解できる	40 40 20	○		◎		○							◎
プレゼンテーション	基本的なプレゼンテーション技術を身につける	1. 基本に則ったプレゼンテーションを行うことができる 2. 聞き手に理解・納得してもらえるプレゼンテーションを行うことができる 3. 他者のプレゼンテーションに対して適切な質問や感想を述べるができる	30 30 40				◎								○
ロジカルライティング	読解力と文章力を身につける	1. 幅広いジャンルの文章を適切に読み取ることができる 2. 論旨の把握、問題点の検討、異論・反論の設定などできる 3. 自分の意見を適切に組み立てて文章にまとめることができる	30 30 40				◎								○
ロジカルシンキング	文章の論理的な理解とともに、感性的な受容力、表現力、さらに言語の周辺の人間文化の理解をも視野に入れた、総合力を養成する	1. 精密な読解力を身に付け、正確な論旨の把握を行い、その内容について、自らの意見を明確かつ適切に表現することができる 2. 多様なジャンルの日本語表現に触れ、それらの持つ特性を的確に理解した上で、内容を理解し自らの言葉で説明することができる 3. アカデミックライティングの手法を習得し、自ら設定したテーマに即して、質の高い小論文を作成することができる	20 30 50				◎	○							
情報社会の理解	社会の情報化が及ぼす影響と課題、現代の情報社会を生きていく上で必要となる情報倫理や情報セキュリティの重要性についての基礎を身につける	1. 情報基礎リテラシーについてその必要性及び概要を理解できる 2. 情報倫理・情報セキュリティについてその必要性及び概要を理解できる 3. 情報社会で発生し得る様々な問題に対して、実際の状況に即して的確な判断・決定をおこなうことができる	30 50 20				◎		○						
情報技術の理解	コンピュータ(情報処理)およびコンピュータネットワーク(情報通信)全般の基礎知識を身につける	1. 情報処理技術(コンピュータ)全般・情報通信技術(ネットワーク)に関して、その概念や動作の仕組みの基本について理解できる 2. 情報社会での様々な問題解決の基本として必要となる情報通信技術の現状や将来について幅広く理解することができる 3. 身の回りの様々な分野で活用されるようになったAI(人工知能)とはどういったもので、社会をどのように変化させる可能性があるか等について考えるための基礎的な知識を理解することができる	40 30 30				◎								
数と社会	社会で必要になる基礎的な計算能力と数的思考能力を身につける。	1. 基礎的な数的処理能力を身に付ける 2. 基礎的な統計を理解できる 3. 計算・統計の結果に基づいて社会の問題を思考できる	30 30 40		○		◎								
コンピュータ活用A	コンピュータを活用して社会のニーズに合わせた成果物を創造できる。	1. 成果物に合わせたアプリケーションの機能を理解できる 2. アプリケーションを使って、適切な成果物を設計できる 3. 成果物を的確に解釈し考察できる	30 30 40				◎	○							
コンピュータ活用B	動画制作と情報発信の基礎知識と技術修得	1. アニメーションを企画し制作する 2. スマートフォンのAPPを活用する 3. 情報発信に必要な知識と技術を理解する	30 40 30				◎	○							
コンピュータ活用C	統計を理解し、使いこなすために必要な「統計リテラシー」の習得	1. 記述統計に関する基礎知識を身につけ、適切にデータを扱うことができる 2. Excelを用いて、データを数値やグラフで適切に要約できる 3. インターネットから公的統計データを入手し、適切に活用することができる	60 30 10				◎	○							
TOEIC I	TOEICの試験問題、特に聴解問題に慣れる	1. TOEICの初級レベルの試験問題の特徴を理解する 2. TOEICの初級レベルの試験問題に正解を出せるようになる 3. TOEICに頻繁に使われている単語600語を覚える	40 40 20				◎								

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量(授業内外の学修活動の総和)全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号										
				凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで										
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
TOEIC II	TOEICの読解試験問題に慣れる	1. TOEICの初級レベルの読解試験問題の特徴(スタイルと頻繁に使われている文法)を理解する	30				◎							
		2. TOEICで使われる読解文をある程度理解できる	30				◎							
		3. TOEICに頻繁に使われている単語1000語を覚える	40				◎							
実践英語 I A	英語によるコミュニケーション力の基礎を習得する。	1. 英語コミュニケーション力の基礎を固める	30				◎							
		2. 英語による自文化の発信ができる	40				◎							
		3. 異文化を英語を通してある程度理解できる	30				◎				○			
実践英語 I B	キャリア形成学科の各領域(ビジネス、ホスピタリティ、ソーシャル)が必要とする基礎英語を学んでいく。	1. グローバル言語としての英語の重要性を認識する	30	○	◎	○	◎	○				○		
		2. 各分野の事例を考察し、キャリア英語を理解する	50	○	○	○	◎							
		3. 各分野の基礎的な語彙を身につける	20				◎							
実践英語 II A	英語コミュニケーション力を発展させる。	1. 観光英語に慣れて外国人を観光地に案内できるようにする	50				◎							
		2. 英語で観光企画を立てて、交渉・ディスカッションするようになる	30				○			◎				
		3. 観光地などに見られる日本文化を外国人に説明できる	20		○		◎							
実践英語 II B	キャリア形成学科の各領域(ビジネス、ホスピタリティ、ソーシャル)が必要とする基礎英語を踏まえて応用的に学んでいく。	1. 各分野の事例を考察し、キャリア英語を運用できるようになる	50	○	○	○	◎							
		2. 各分野の応用的な語彙を身につける	30				◎							
		3. グローバル言語としての英語を自分のキャリアにとって導入方法を考える	20	○	○	○	◎						○	
実践ビジネス英語	ビジネスで役立つ英語の「読み」「書き」の力をつける	1. ビジネス・産業・企業などに関して基礎的な語彙を理解する	50				◎							
		2. ビジネス・産業・企業などに関してデータ、報告書、ニュースを理解する	20				◎							
		3. 英文のメールや手紙の書き方を理解し、書けるようになる	30				◎							
実践ビジネス英会話	ビジネスで役立つ英語の「聴く」「話す」力をつける	ビジネスに関わる会話を理解できるようになる。	30				◎							
		ビジネスに関わる会話を何も見ることなく発声されるようになる。	20				◎							
		学習したフレーズを、授業で出てきた以外でのシーンに適用できるようになる。	50				◎							
semester留学	英語コミュニケーション力を発展させる。異文化理解を深め、視野を広げる。	1. 海外での生活を慣れ、日常会話をできるようになる	60				◎							○
		2. アカデミック英語能力を身につけ、英語で調査研究し、結果をまとめる	20				◎							
		3. 異文化を理解し、問題発見できるようになる	20		◎									○
長期(1年)留学	英語コミュニケーション力を発展させる。異文化理解を深め、視野を広げる。	1. 海外での生活を慣れ、日常会話をできるようになる	60				◎							○
		2. アカデミック英語能力を身につけ、英語で調査研究し、上級レベルの英語で研究レポートを書けるようになる	20				◎							
		3. 異文化を理解し、問題発見し、英語で研究できるようになる	20		◎									○
実践中国語 I	中国語を話す	1. 中国語の正しい発音を習得する	30		◎									
		2. 中国語で自己紹介ができる	40		◎		◎							
		3. 中国の文化への理解を深める	30		◎				○					
実践中国語 II	中国語を話す	1. 中国語の基本的な語法を習得する	30		◎									
		2. 中国語で簡単な会話が出来る	40		◎		◎							
		3. 中国の社会への理解を深める	30		◎				○					
実践ハングル I	韓国語コミュニケーションのための基礎を身につける	1. 韓国語のきまり文句を用いて、様々な場面で簡単な会話が出来る	40				◎							
		2. 韓国語の平易な短文を読み、理解できる	40				◎							
		3. 語学の学習を通じて、隣国の生活や社会を知る	20		◎									
実践ハングル II	韓国語コミュニケーションのための基礎を身につける	1. 韓国語のきまり文句を用いて、様々な場面で簡単な会話が出来る	40				◎							
		2. 簡単な日記や手紙、メールなどの短文を読み、何について述べられたものなのかをつかむことができる	40				◎							
		3. 語学の学習を通じて、隣国の生活や社会を知る	20		◎									
プロジェクト入門 I	「プロジェクト」について理解し、その実践のための「プロジェクトマネジメント」の基礎知識を習得する	1. プロジェクトとは何かを理解する。	10							○				
		2. プロジェクトマネジメントの基礎知識を習得する。	40							◎				○
		3. チーム活動を円滑におこなうための基礎知識を修得し、活用する。	50							◎				○
プロジェクト入門 II	プロジェクトマネジメントの基礎知識を体得しながら、チーム活動によってプロジェクトを実践し、その結果を考察する	1. プロジェクトマネジメントの基礎知識を活用して、必要な活動をおこなう。	30							◎				○
		2. プロジェクトの重要な成果物を創出する。	40							○				◎
		3. プロジェクトの実践結果を考察し、改善提案と教訓を導き出す。	30							◎				○
プロジェクト実践	プロジェクトマネジメントの基礎知識を活用し、企業や社会などの課題を解決するプロジェクトを実践する	1. プロジェクトマネジメントの知識・スキルを活用し、企業や社会の課題を解決するためのプロジェクトを実践する	40							○				◎
		2. 各自の役割を理解し、チームで実行することができる	30								○			◎
		3. プロジェクト実施後に分析・評価するための情報を収集することができる	30				◎							○
プロジェクト評価	プロジェクトの実践結果を分析評価し、教訓と改善提案を導き出す	1. プロジェクトの実践結果を分析・評価し、深く考察することができる	40						◎	○				
		2. プロジェクトの考察結果を元に教訓を導き出すことができる	30						◎	○				
		3. プロジェクトの考察結果を元に改善計画を立案することができる	30						○	◎				
専門実習(長期インターンシップ)	企業・自治体・NPOなどでの現場実習を通じて専門知識を实践、統合する	1. 講義やプロジェクトなどで得た知識やスキルを「現場」で活用する	40										○	◎
		2. 「現場」で求められる能力を理解する	30										○	◎
		3. 実習を通じて、組織活動における自らの強みと課題を把握する	30										◎	○
基礎ゼミ I	人間関係の形成、大学での授業理解の促進、学びや体験の記録	1. クラスメイトや担当教員などとの人間関係の形成する	50									◎		
		2. 大学で学習するにあたって欠くことができない技術を身につける	20				◎							
		3. 授業内外の学びや体験を記録する	30										◎	○

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量(授業内外の学修活動の総和)全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号									
				凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
基礎ゼミⅡ	授業で修得した技術や知識の活用法を身につける、学びや体験による成長の記録と振り返り	1. グループワークを通して、問題発見解決能力の基礎力向上させる	30									◎	
		2. 問題発見解決能力の基礎力向上のために、研究レポートを作成する	30				◎						
		3. キャリア形成学科の専門領域の広がり理解する	40									◎	
発展ゼミⅠ	情報の収集・整理・要約とコミュニケーション力の養成	1. 文献を読み、理解してまとめ、内容を他者に伝えることができる	50		○		◎						
		2. 論理的な思考ができる	30		○			◎					
		3. 大学生活を主体的積極的に過ごすことができる	20		○							◎	
発展ゼミⅡ	情報の収集・整理・要約とコミュニケーション力の養成	1. 自ら課題を発見し、情報収集、分析、討論ができる	50				◎	○					
		2. 幅広い視野をもち思考できる	30		○			◎					
		3. 卒業後の自分の未来を見据えて大学生活を過ごすことができる	20		○							◎	
応用ゼミⅠ	専門分野のテーマに関して、論理的に考え、問題発見して解決する方法を身につける	1. 専門分野のテーマについて、問題を発見できる	40				◎						
		2. 取り組む問題に関する専門知識を身につける	30				◎	○					
		3. 取り組む問題に関する解決方法を身につける	30				◎	○					
応用ゼミⅡ	専門分野のテーマに関して、問題発見・解決した成果をまとめて発表できる	1. 取組んだ専門分野の問題発見・解決の成果を報告書にまとめられる	30				◎						
		2. 成果を分かりやすく発表できる	30				◎						
		3. 取り上げたテーマについて、さらに取り組むべき内容と方法を説明できる	40				◎						
応用ゼミⅢ	卒業研究の制作準備を通して、問題発見・解決力を高める	1. 取組の焦点が絞られた卒業研究のテーマを設定できる	40					○					◎
		2. 卒業研究を進める目的・方法を明確化して、研究計画書が作成できる	30					○					◎
		3. 先行研究を詳しく調べて要点を明確化して、卒業研究の推進に結び付けられる	30						○				◎
応用ゼミⅣ	卒業研究の制作を通して、問題発見・解決力を高める	1. 卒業研究に関する創造的な成果物を蓄積できる	30					○					◎
		2. 先行研究を引用しながら、自分の取組成果を論理的に文章作成できる	30					○					◎
		3. 卒業研究の問題に対する創造的な解決方法を提起できる	40						○				◎
卒業研究	卒業研究の成果物を制作し、発表会で分かりやすく報告する	1. 卒業研究の成果物を創造的に制作して提出できる	30					○					◎
		2. 論理的な日本語表現で卒業研究を執筆できる	40					○					◎
		3. 卒業研究の発表会で分かりやすく発表し、適切に質疑応答できる	30						○				◎
ビジネス・マネジメント原論	民間企業(営利企業)における一般的なビジネス活動全般に関する幅広い知識を修得する	1. ビジネス・マネジメントがカバーする範囲の全体像とサービス・マネジメント、ソーシャル・マネジメントとの関係を把握できる	20				◎						
		2. 企業のビジネス活動を経営資源(ヒト・モノ・カネ・情報)の利用・活用の視点で捉えることができる	40				◎						○
		3. 国内におけるビジネスを支える主要業種、特に製造業・流通業・サービス業の概要・動向等の全体像を掴むことができる	40				◎						○
サービス・マネジメント原論	サービスの特性や顧客満足について知り、各種サービス組織で働く人々が、やり甲斐や成長を感じ、効率性を高めるマネジメントの仕組みについて学ぶ。	1. サービスの特性について理解できる	30				◎						
		2. 顧客満足や顧客ロイヤリティについて理解できる	30				◎						
		3. 各種業界の実践事例からサービス組織のマネジメントを理解できる	40				◎						
ソーシャル・マネジメント原論	社会(ソーシャル)の問題解決を目的とする諸活動を概観し、ソーシャル・マネジメントの基礎的概念を理解する	1. ソーシャル・マネジメントの基礎概念を理解している	40		○	◎							
		2. 主体の違いによるソーシャル・マネジメントの差異や特徴を理解している	40		○	◎							
		3. 自らの生活の中にあるソーシャル・マネジメントを説明できる	20		○						◎		
広報企画デザイン	商品やサービスの広報に必要な基礎知識を習得し、広報企画デザインの制作に取り組む	1. 広報や企画の概要を理解できる	20					○					
		2. 広報に必要な画像や動画撮影、デザインを企画できる	40					○					○
		3. 広報企画デザインとしての成果物を制作する	40					○					
経営学	経営・マネジメントの基本と応用について、現実社会の動向を踏まえて考察し、理解を深める	1. 経営学の全体像について理解できる	20		○	◎							
		2. 企業と市場との関わりという概念と具体的な事例について理解できる	40		○	◎							
		3. 経営戦略やマネジメントという概念と具体的な事例について理解できる	40				◎	○					
会計学	簿記の体系的な仕組みやその基本となる記帳や計算表作成の実務に関する知識を組み合わせた財務諸表を通じて、経済活動に実際に役立つ能力と態度を養う	1. 貸借対照表・損益計算書といった財務諸表の作成とそれらの分析について理解できる	40				◎						
		2. グローバル化への対応、キャッシュフロー、監査等財務会計の応用について理解できる	40				◎						
		3. 経営目的達成のための活動計画の設定と経営意思決定に関わる管理会計の概要について理解できる	20				◎						
経済学	経済の理論や仕組みの基本と応用について、現実社会の動向を踏まえて考察し、理解を深める	1. ミクロ経済学の基本的理論の知識及び計算ができる	35				◎						
		2. マクロ経済学の基本的理論の知識及び計算ができる	35				◎						
		3. 産業、経済に関わる諸問題について、その現状や課題を幅広く理解することができる	30				◎		○				
マーケティング	マーケティング理論・技法の基本から応用まで理解を深め実践場面での活用法を考察する	1. マーケティングに関する用語と基本から応用的な理論を理解できる	40				◎						
		2. マーケティング理論・技法を通して消費者行動を社会情勢として考察できる	30				◎						
		3. マーケティング理論・技法を通して企業の経営戦略と社会貢献を考察できる	30				◎						
経営情報	経営上の問題解決とそれらを実現するためのテクノロジーを考察し、理解を深める	1. ビジネスとICT(情報通信技術)の関わりについて理解できる	40				◎	○					
		2. 経営情報システムを実現する具体的なICTの要素技術について理解できる	40				◎	○					
		3. ビジネス・プロセスに注目した業務改革の具体的な事例を理解できる	20				◎		○				
金融ビジネス	直接金融と間接金融を含む金融という概念全般を理解し、金融業界に含まれる企業とその具体的な業務をビジネスという観点で捉える	1. 金融の概念とは具体的にどういったものであり、これまでどのように発展・進化してきたかの概要を理解できる	30				◎						
		2. 銀行・信用金庫・証券・保険・クレジット等金融業界に含まれる具体的な企業の種類・概要・ビジネスモデルについて理解できる	40				◎						
		3. 金融業界を取り巻く新たな課題、AI(人工知能)やICT(情報通信技術)等の進化の影響による今後の動向や環境の変化等について理解できる	30				◎						
消費者心理学	消費者行動の理論とそのマーケティングへの応用について学ぶ	1. 消費者行動と購買意思決定過程モデルについて理解する	40		○	◎							
		2. 消費者の満足・不満足について、購買意思決定過程モデルから検討することができる	30		○	◎							
		3. 社会的文化的状況下において集団と個人から影響をうける消費者行動について理解する	30		○	◎							

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量(授業内外の学修活動の総和)全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号																	
				凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで																	
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩								
産業・組織心理学	心理学が産業・組織の研究において、どのような役割を果たしているのかについて学ぶ	組織の動的な特徴と組織化のプロセスを説明できる	20		○	◎															
		組織を構成する個人の心的メカニズムの基礎を説明できる	40		○	◎															
		集団をリーダーシップ、意思決定の観点から分析できる	40		○	◎															
ロジスティクス	企業におけるロジスティクスの実態を踏まえ、具体的な企業の取り組みなどを通じて、現代のロジスティクスの全体像を幅広く把握出来るための基本的な知識を体系的に学ぶ	1. 企業等がビジネス活動を展開する上で、ロジスティクスが必要不可欠なものであることを理解できる	20			◎															
		2. 企業の経営戦略の一環として、戦略的なロジスティクスを実践する企業の取り組み(目的・効果等)について理解できる	50			◎															
		3. 宅配便ビジネス、国際物流サービス、3PL(サードパーティーロジスティクス)等のロジスティクスに関する新しい動きや具体的な事例について理解できる	30			◎															
経営法務	経営・ビジネスに関わる法規・法律について、経済活動やビジネスの視点からのケーススタディ等を通じて幅広く考察し、より身近なものとして理解を深める	1. 経営・ビジネスに関連する法律の体系および概要について理解できる	30			◎															
		2. 法律的に物事を捉え、考える態度を身につけることができる	30			◎															
		3. コンプライアンス・法令遵守という考え方を体感的に理解できる	40			◎	○														
組織とヒューマンリソース	「人的資源」を活かす組織のあり方や新しい組織形態等について理解する	1. 組織論の考え方を、組織を構成する「人間」という視点を中心に理解できる	30		○	◎															
		2. 企業で実際におこなわれる人的資源管理、人事制度、雇用管理、人事評価などのシステムについて理解できる	30		○	◎															
		3. リーダーシップ、モチベーション、メンタルヘルスなど人間にまつわる諸問題について理解できる	40		○	◎															
アパレルプランニング	アパレル商品企画についてトレンド情報の分析からプランニングまでの基本的なプロセスを理解した上で、サンプル制作の製図から縫製までの技術を習得する。	1. アパレルの商品企画について基本的なプロセスを理解できる	40			○														○	
		2. サンプルアイテムの製図から縫製までの一連の流れを理解できる	40			○															○
		3. マイブランドのアイテムをプランニングしプレゼンテーションできる	20			○															
サービスプランニング	観光業や運輸サービス業、接客業などのサービス業にとって不可欠なノウハウや対人対応力を高めると同時に、ホスピタリティ・マインドを涵養する。	1. ホスピタリティ・マインドについて理解できる	30		○	◎															
		2. 顧客のニーズを汲み取ったツアープランニングの力を身につける	30		○	◎															
		3. ツアーガイド、ホテルや施設のフロント・レセプション、エアラインのキャビンアテンダントや空港スタッフなどサービス業の接客マナーや対応力を身につける。	40		○	◎															
化粧心理	美容業界の美容業界の職種、サービスシステムと、そこで提供される技術について学ぶと共に、美に対する自己啓発を行う。	1. 美容業界のホスピタリティ・マインドについて理解できる	30		○	◎															
		2. 美に対する自己啓発を行い、美容技術を用いた自己表現法を向上させる	30		○	◎															
		3. 美容サービス業に必要な企画、提案能力を身につける	40		○	◎															
観光ビジネス	観光に関わるビジネスについて基礎的な理解を深め、観光マネジメントについて各種観光事業ごとに学ぶ。	1. 観光ビジネスについての基礎知識を理解できる	30		○	◎															
		2. 各種観光事業におけるマネジメントを理解できる	30			◎															
		3. 「国内旅行取扱管理者」の資格試験の知識を身につけている	40		○	◎															
観光リソース	国内および海外の各種観光資源についての基礎知識を理解するとともに、資源の活用および観光業務の契約や約款について理解できる	1. 観光地、テーマパークなどの観光資源について理解できる	30			◎															
		2. ビジネスとしての観光資源の活用および観光業務の契約や約款について理解できる	40		○	◎															
		3. 海外・国内旅行およびインバウンド観光の特性を理解できる	30		○	◎															
食文化・フードビジネス	料理概論を広く理解し、調理の基礎知識、食材の知識を理解する。	1. 日本、西洋、中国料理、洋菓子の食文化について理解できる	30		○	◎															
		2. 食材料(野菜、魚介類、肉類、調味料、その他)について理解できる	30			◎															
		3. Food marketingについて理解できる	40			◎															
食文化演習	日本料理、西洋料理、中国料理、エスニック料理など世界の食文化を知り、栄養素の知識や調理法について学んだ上で、オリジナルメニューを提案し調理・演出する。	1. 食文化に基づく世界の料理様式を理解する	40			○															
		2. 栄養素の知識やカロリー計算をもとに料理レシピを企画できる	40			○															
		3. オリジナルメニューを提案し、調理や色どりよい盛り付けができる	20			○															○
食空間コーディネーター	食することやおいしさの構成要素および食文化を知り、食空間演出の基礎知識を理解した上で、テーブルコーディネートの基本を身につける	1. 和食、西洋料理、中華料理の基本セッティングができる。	30		○	◎															
		2. シーンに合わせた演出やカラーの特性を生かしたコーディネートができる	40		○	◎															
		3. 各種パーティーのプランニングやテーブルコーディネートができる	30			◎															○
食マーケティング論	農産物や加工品などの食品流通の現状や、食品の安全性や環境に与える影響について学ぶ。	1. 食産業の役割を理解できる	30		○	◎															
		2. 食品流通に必要なグローバルな知識を理解できる	40			◎															
		3. 食の安全性と環境問題について理解できる	30		○	◎															
ブライダルビジネス	ブライダルの基礎知識をふまえ、マーケットの現状をビジネス的な視点で考察する。	1. ブライダルビジネスの基礎知識を理解できる	30			◎															
		2. ブライダルマーケットの仕組みおよび現状を理解できる	30			◎															
		3. 習得した基礎知識をもとに今後の婚礼の在り方を考察できる	40		○	◎															
ブライダル企画演習	婚礼企画とアイテム制作	1. ブライダルビジネスの現状を理解できる	30		○	◎															
		2. オリジナルの婚礼企画を提案できる	30			◎															
		3. ブライダルアイテムを制作できる	40			◎															○
ファッションビジネス	ファッションビジネスの特性と構造や、アパレル業界の専門職について理解し、アパレルマーケティングについて学ぶ。	1. アパレル産業の特性と構造を理解できる	30			◎															
		2. アパレル業界の変遷と専門職について理解できる	40		○	◎															
		3. アパレルマーケティングについて理解できる	30			◎															
アパレル販売	アパレル製品の販売に必要な、品揃えや計数管理など、基礎知識について習得する。	1. 商品の品揃えや計数管理を理解できる	30			◎															
		2. 顧客への接客技術や購買心理を理解できる	30		○	◎															
		3. アイテムや素材、取扱い方法などの商品知識を理解できる	40		○	◎															
住空間コーディネーター	インテリアの構成に必要な家具の基礎知識やその歴史を理解した上で、模型(ミニチュア)家具制作に取り組む。	1. 家具の歴史及び日本と海外の家具とインテリアの違いを理解できる	30		○	◎															
		2. 家具の基本構造やデザイン、その特性を理解できる	30		○	◎															
		3. 家具のミニチュア模型を完成させることができる	40		○	◎															
ブランドデザイン	各種業界におけるブランドデザインの基礎的な知識とブランディング技法について学ぶ	1. ブランドデザインの基礎知識およびブランド連想について理解できる	30			◎															
		2. 各種業界のブランドストーリーについて理解できる	30			◎															
		3. 拡張ブランドを企画提案しプレゼンテーションできる	40		○	◎															

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量(授業内外の 学修活動の総和)全体を100とし たときの配分	ディプロマポリシーの項目番号												
				凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで												
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
ショップデザイン	VMD(ビジュアル・マーチャン・ダイジング)の基礎を理解し、ショップでの演出や陳列の理論を学んだ上で、商品コンセプトに沿ったショップをデザインし店舗設計の基礎的な技術を学ぶ	1. VMDによるショップの演出や陳列の理論を理解できる	30		○	◎										
		2. コンセプトに沿ったショップのデザインに取り組むことができる	30		○	◎										
		3. 店舗設計の基礎的な技術を理解しプレゼンテーションできる	40			◎										○
インテリアビジネス	インテリアビジネスの特性について知り、住空間のインテリアを構成する家具、カーテン、壁装材、照明等のエレメントを、ライフスタイルのニーズから探る。	1. インテリアビジネスの特性について理解できる	40			◎										
		2. 住空間のインテリアエレメントの流通について理解できる	30			◎										
		3. ライフスタイルによる快適な住空間について理解できる	30		○	◎										
インテリア計画	住宅のインテリアを構成する家具、カーテン、壁装飾、照明、床材、設備などのエレメントを組みあわせ、適切な配置について学ぶ。	1. インテリアの歴史の概略が理解できる	30			○										
		2. インテリアデザインの空間構成と寸法、色彩、照明について理解できる	40			○									○	
		3. インテリアデザインの環境、設備、材料、構造、法規について理解できる	30			○									○	
地域公共政策	地域社会に影響を及ぼす公共政策の立案プロセスや事例、評価方法を理解する	1. 公共政策が決定される立案プロセスを理解している	40			◎		○								
		2. 公共政策の事例や評価方法を理解している	30			◎		○								
		3. 公共政策が地域に与える影響を理解している	30			◎		○								
社会政策	社会的包摂という考えから社会政策の必要性・あり方を理解し、自分事として捉えてみよう	1. 福祉社会(包摂型社会)のイメージをもっている。	30	○		◎										
		2. 福祉社会の実現に向けた社会政策の意義と必要性、現状と課題を理解している。	40	○		◎										
		3. 社会政策の担い手として自らを捉え、関わり方について自分なりのイメージを持っている。	30		○	◎										
ソーシャルビジネス	社会問題の解決に取り組むソーシャルビジネス(NPOや社会的企業等による実践)の可能性と課題を理解する	1. ソーシャルビジネスの特徴や手法、現代社会における意義や役割を理解している	30		○	◎										
		2. ソーシャルビジネスの可能性と課題を理解している	30		○	◎										
		3. ソーシャルビジネスの担い手として自らを捉え、関わり方について自分なりのイメージを持っている	40								○				◎	
企業の社会的責任	企業の社会的責任について学び、長期にわたって企業が持続的に発展することができる経営戦略について考察し、理解を深める	1. 企業の社会的責任という概念について、環境・経済・社会の側面から理解できる	40			◎		○								
		2. 企業と社会との持続可能な関係を、主なステークホルダーの立場から理解できる	30			◎					○					
		3. 企業がCSR経営を実施し、評価を受ける際の基本的な方法と具体的な事例を理解できる	30			◎									○	
現代社会のリスクとまちづくり	住民にとって住みよいまちのあり方について考え、そのまちづくりに必要となる知識や考え方を身に付ける	1. まちづくりの基本的な知識が身につけている	30			◎		○								
		2. 身近な地域のリスクとまちづくりについて、自らの意見を述べることができる	30					◎							○	
		3. 自ら考えるリスク対策とまちづくりを具現化する方法を示すことができる	40					◎							○	
多文化共生社会	文化に関する基礎理論を学び、多文化共生社会についての理解を深める	1. 多文化共生社会とは何かを理解している	40			◎						○				
		2. 多文化化が進む日本の政策と実情を理解している	30			◎						○				
		3. マイノリティ支援の豊富な実践例を紹介することができる	30			◎						○				
社会とジェンダー	日常生活の様々な場面でどのようにジェンダーが構築されているか実践的に学ぶ	1. 文化と社会におけるジェンダーの構築について意識を高める	50	○				◎								
		2. ジェンダー問題の国際比較をし、諸外国の現状を理解できるようになる	30	◎				○								
		3. ジェンダーに関する問題を発見、調査し、研究結果をプレゼンテーションに纏めることができるようになる	20	○				◎								
地方自治	地方自治の仕組みと地方分権における課題を理解する	1. 地方自治に関する基礎知識を理解している	40			◎										
		2. 地方分権の基礎知識を理解している	30			◎										
		3. 地方自治の今日的課題を説明できる	30		○			◎								
まちづくりデザイン	市民と行政などが協働して、まちづくりや地域問題解決に取り組む意義と方法を理解する	1. まちづくりに関連する基礎的な知識を習得している	30		○			◎								
		2. 住民主体のまちづくりや協働の意義を理解している	40		○	◎										
		3. 地域課題解決に取り組む先進事例について理解できる	30					◎							○	
現代社会と福祉Ⅰ	現代社会における福祉の意義や福祉の担い手について理解する	1. 福祉の基本的な知識を習得している	40		○			◎								
		2. 社会問題に対する福祉(制度、政策も含む)の意義を説明できる	40		○			◎								
		3. 地域住民・NPOなど福祉の担い手について理解している	20		○			◎								
現代社会と福祉Ⅱ	社会問題の解決に向けたソーシャルアクションの意義やその実践について理解する	1. 多様な社会問題の現状とその原因について説明できる	40		○			◎								
		2. 地域にある社会資源やソーシャルキャピタルについて理解している	40		○			◎								
		3. ソーシャルアクションの意義や具体的な事例について説明できる	20					◎							○	
ビジネスマナー	社会人としての基本的な知識、判断や行動が出来るようにビジネス実務を学び演習を行う	1. 社会人に必要なビジネスマナーを身につける	50			○							○			
		2. 仕事のルール、チームでの働き方を身につける	25			○								○		
		3. 良好な人間関係を築くことができる	25			○								○		
ビジネス実務	実践的なビジネス実務能力が発揮できるような考え方や技術を身につける	1. さまざまな事例に対し、的確な状況対応ができる	30			○									○	
		2. 社会人として、他者への配慮ができる	30								○			○		
		3. 職業人としての基礎的な情報収集・活用、企画立案、文書作成などの実務能力を身につける	40			○								○		
簿記・会計実務基礎	簿記の基礎となる個人商店を対象とした商業簿記を学習する	1. 企業活動におけるお金の流れを読むスキルが身につけている	25			○							○			
		2. 企業活動における決算書を作成することができる	25			○							○			
		3. 日商簿記検定3級レベルの基本的な知識が身につけている	50			○							○			
簿記・会計実務応用	財務諸表に関する知識を活用し、“企業の体力”や“社会の動き”を分析する能力を養う	1. キャッシュフロー計算書の構造と読み方を理解している	25			○							○			
		2. 財務諸表の基本的な分析を行うことができ、自社や取引先の経営内容を数字から把握できる	25			○								○		
		3. 日商簿記検定3級に合格できる程度の知識が身につけている	50			○								○		
ファイナンシャル・プランニング入門	ファイナンシャル・プランニングの必要な知識である家計にかかわる住宅ローン、教育資金、年金制度、保険、税制など幅広い知識を学習する	1. ライフプランニングの知識が身につけている	40			○							○			
		2. リスク管理の知識が身につけている	30			○								○		
		3. タックスプランニングの知識が身につけている	30			○								○		

学科目	科目の主題	科目の到達目標	配分 学習量(授業内外の学修活動の総和)全体を100としたときの配分	ディプロマポリシーの項目番号										
				凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで										
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
ファイナンシャル・プランニング応用	ファイナンシャル・プランナーにとって必要な知識である家計にかかわる金融、不動産、相続など幅広い知識を学習する	1. 金融資産運用の知識が身についている	40			○						○		
		2. 不動産の知識が身についている	30			○						○		
		3. 相続の知識が身についている	30			○						○		
ブライダル実務	ブライダルマーケットに関する知識を深め、ビジネスの視点で婚礼業務を実務レベルで理解する。	1. ブライダルマーケットの現状と今後の展望について理解できる	20		○	◎								
		2. 婚礼実務の知識を実務レベルで理解できる	20		○	◎								
		3. 接客に必要なマナーや接客、求められる接客スキルについて理解できる	60		○	◎								
ブライダルコーディネーター	婚礼に関する専門知識を習得した上で、ブライダルプランナーとして業務に就くために必要な技能や接客マナーを学ぶ。また、ブライダルコーディネーター技能検定3級(国家検定)の試験対策にも取り組む。	1. ブライダルビジネスの基礎知識を理解した上で、神前式、仏前式、キリスト教式、人前式などの婚礼に関する演習問題を解くことができる	30		○	◎								
		2. コーディネーター業務や和・洋の披露宴についての実務を理解し、演習問題を解くことができる	30		○	◎								
		3. ブライダルコーディネーター技能検定の実技試験に取り組むことができる	40		○	◎								
観光地理(国内)	観光分野の資格取得も意識しながら、国内主要観光地の地勢、歴史、交通機関および観光資源に関する基本知識を修得する	1. 国内主要観光地の地理、歴史、交通機関に関する基本知識を修得している	40		○	◎								
		2. 国内主要観光地の観光資源に関する基本知識を修得している	50			◎								
		3. 観光分野主要資格試験(旅行業務取扱管理者など)に合格できる国内の地理知識を修得している	10			◎								
観光地理(海外)	観光分野の資格取得も意識しながら、海外主要観光地の地理、歴史、交通機関および観光資源に関する基本知識を修得する	1. 海外主要観光地の地理、歴史、交通機関に関する基本知識を修得している	40		○	◎								
		2. 海外主要観光地の観光資源に関する基本知識を修得している	50			◎								
		3. 観光分野主要資格試験(旅行業務取扱管理者など)に合格できる海外の地理知識を修得している	10			◎								
国内旅行の取扱管理Ⅰ	国家資格である国内旅行業務取扱管理者の資格取得に向け、必要な基礎知識を修得する	1. 国内旅行業務取扱管理者の資格の意義を理解できる	30		○	◎								
		2. 旅行業法、旅行業約款など各種約款に関する基礎知識を理解できる	30		○	◎								
		3. 旅行契約において消費者に係わる具体的事例について理解できる	40		○	◎								
国内旅行の取扱管理Ⅱ	国内旅行業務取扱管理者の試験に合格できる約款や観光業に関する専門的知識を学ぶ。	1. 日本全国47都道府県の観光資源について理解できる	30		○	◎								
		2. 国内観光地理に関し、試験に対応できる専門知識を習得し、説明できる	30		○	◎								
		3. 国内旅行の宿泊、運賃計算などに関し、試験に対応できる知識を身につけられる	40		○	◎								
総合旅行取扱管理	総合旅行業務取扱管理者の試験(例年10月実施)に合格できる知識ならびに取り組む方を修得する	1. 旅行関連実務やガイドブックなどツーリズム・イングリッシュに関し、試験合格レベルの知識を修得できる	30		○	◎								
		2. 海外観光地理、出入国管理法などに関し、試験合格レベルの知識を修得できる	30		○	◎								
		3. 海外旅行の宿泊、国際運賃計算などに関し、試験に対応できる知識を修得できる	40		○	◎								
観光英語Ⅰ	観光英語検定3級で必要な日常英会話をマスター観光英語検定3級の合格を目指す	1. 旅先で必要な英語表現や英語表示などを把握する	50		○		◎							
		2. 旅行先で遭遇する様々な場面で必要な語句や熟語を丁寧に説明できるようになる	30				◎							
		3. 観光英語検定3級のリスニング・テストに効果的な練習法を取り入、合格できるようになる	20	○			◎							
観光英語Ⅱ	観光英語検定2級合格を目指す	1. 旅先で必要な英語表現や旅行関連の用語などについての詳しい知識を身につける	50		○		◎							
		2. 発展レベルでは旅行先で遭遇する場面で必要な語句や熟語を説明できるようになる	30				◎							
		3. 観光英語検定2級のリスニング・テストに効果的な練習法を取り入れ、合格できるようになる	20	○			◎							
社会と統計	国勢調査、学術調査、世論調査などの様々な実際の調査データを用いて、社会調査の基本的事項と意義について学ぶ。また、社会調査の歴史や実際に調査を行う際に注意すべき点についても学び、社会と統計との関わりについて理解を深める	1. 社会調査の計画・実施方法を理解する	30			○	◎							
		2. 社会調査の調査票を作成できるようになる	30			○	◎							
		3. 社会調査データの集計や簡単な統計分析ができる	40				◎	○						
データ解析入門	推測統計の基本的な考え方を学び、統計解析ソフトウェアを用いて実践的なデータ分析演習に取り組む	1. 統計分析ソフトウェアを用いて、記述統計量の算出やグラフ作成を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる	20				◎							
		2. 推測統計の基本的な考え方を説明することができる	40				◎							
		3. 統計分析ソフトウェアを用いて、t検定、相関分析、カイニ乗検定を行い、分析結果を簡潔にレポートすることができる	40					◎						
社会調査法	社会調査が何のために何故行われるか、その特徴は何か、どのような方法があるのかなどを学び、社会調査についての基本を理解する。その上で、具体的な調査の方法を学び、社会調査を実施する上で最低限必要な一通りの知識と技術を修得する	1. 様々な統計データを読み解くリテラシーを修得する	30				◎	○						
		2. 社会調査による情報収集の基本的知識を修得する	30				◎	○						
		3. 社会調査によって収集された情報の分析に関する基本的知識を修得する	40				◎	○						
社会調査実習Ⅰ	グループ実習を通じて初歩的な調査技術を習得することを目的とする。授業全体の調査テーマを設定し、グループに分かれて、各グループの調査テーマを設定する。グループ内で調査目的・仮説を明確化する。グループごとに調査票を作成し、調査対象を決定する。	1. 社会調査の基本的知識を習得できる	40			◎	○							
		2. 社会調査を企画できる	30					◎					○	
		3. 調査票を作成できる	30						◎					○
社会調査実習Ⅱ	社会調査実習Ⅰで企画した調査を、グループ単位で実施し、調査して得られたデータの分析を行い、分析結果に基づいて報告書を作成する。グループごとに発表し、討論の後、各グループの分析結果に基づいて、調査全体としての結論を導く	1. 社会調査の基本的技術を習得できる	40			◎							○	
		2. 社会調査を実施できる	30				◎							○
		3. 調査データを分析できる	30					○	◎					
メディカルクラークⅠ	医療事務技能審査(メディカルクラーク)の資格取得を目標とする	1. 医療保険制度の基礎知識を理解できる	40			○							◎	
		2. 診療報酬の基礎知識を理解し、点数計算ができる	30			○								◎
		3. 診療報酬明細書の記載要領を理解できる	30			○								◎
メディカルクラークⅡ	医療事務技能審査(メディカルクラーク)の資格取得を目標とする	1. 医療機関において患者接客・受付の基礎ができる	40									○	◎	
		2. 診療報酬の基礎知識を理解し、点数計算ができる	30				○							◎
		3. 診療報酬明細書の記載要領を理解できる	30				○							◎
メディカルクラーク応用	医療事務技能審査(メディカルクラーク)の資格取得を目標とする	1. カルテを正しく読むことができる	30				○						◎	
		2. 診療報酬明細書の誤りを発見できる	30				○							◎
		3. 医療事務技能審査に向け、時間内に解答できる	40				○							◎
ドクターズクラークⅠ	医師事務作業補助技能認定試験=ドクターズクラークの資格取得を目標とする	1. 医療保険制度・医療関連法規を理解できる	30			○							◎	
		2. 医学一般・薬学一般を身につける	20		○									◎
		3. 各種医療文書を作成できる	50				○							◎

学 科 目	科 目 の 主 題	科 目 の 到 達 目 標	配 分 学 習 量 ( 授 業 内 外 の 学 修 活 動 の 総 和 ) 全 体 を 100 と し た と き の 配 分	ディプロマポリシーの項目番号										
				凡例 ◎:DP達成のため設定された項目と強い関連性がある ○:DP達成のため設定された項目と相当程度の関連性がある 1つの達成目標に対して合わせて最大2個まで										
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
ドクターズクラスⅡ	医師事務作業補助技能認定試験＝ドクターズクラスの資格取得を目標とする	1. 医療保険制度・医療関連法規を理解できる	30			○						◎		
		2. 医学一般・薬学一般を身につける	20		○								◎	
		3. ヒューマンスキル・ビジネススキルを身につける	50				○						◎	
ケアクラス	ケアクラス技能認定試験＝ケアクラスの資格取得を目標とする	1. 介護保険制度の基礎知識を理解できる	40			○							◎	
		2. 介護報酬を理解し介護給付費の算定ができる	30				○						◎	
		3. 介護給付費明細書の記載要領を理解できる	30				○						◎	
調剤報酬請求事務	調剤報酬算定の技能を身につける	1. 医療保険制度を理解できる	30			○							◎	
		2. 調剤報酬明細書の作成、点検ができる	50				○						◎	
		3. 患者接遇と受付実務を身につける	20				○						◎	
データ解析応用	統計解析ソフトウェアを用いて多変量解析の基礎を学ぶ	1. 因子分析や重回帰分析の考え方を理解し、分析結果を正しく評価することができる	40				◎	○						
		2. サンプルデータに対して因子分析を適切に行うことができる	30				◎	○						
		3. サンプルデータに対して重回帰分析を適切に行うことができる	30				◎	○						
公務員特別演習基礎	公務員試験の合格を目指すための、社会科学に関する基本的な知識を身につける	1. 政治・法律の基礎的な知識を身につける	50		◎	○								
		2. 経済の基礎的な知識を身につける	25		◎	○								
		3. 社会の基礎的な知識を身につける	25		◎									
公務員特別演習応用	公務員試験の教養試験において必要とされる自然科学の知識を身につけ、それらを現実の試験に対応させ得る力をつける。	1. 数的推理、判断推理の基礎知識を身につける	40		◎									
		2. 自然科学(特に地学・生物)の知識を身につける	40		◎									
		3. 過去問題や演習に多く触れ、実際の試験問題の傾向を捉える	20		◎									
公務員特別演習発展	公務員試験の教養試験に必要な人文科学の知識を身につける	1. 日本史・世界史の基礎的な知識を身につける	50		◎									
		2. 地理の基礎的な知識を身につける	25		◎									
		3. 思想、文芸の基礎的な知識を身につける	25		◎									
公務員特別演習(総合)	公務員試験の合格を目指すために、自治体が求める人材像を理解し、必要な知識・技能・態度を身につける。	1. 公務員試験で求められる知識を理解し、実践力を養う	40		◎	○								
		2. 公務員試験で求められる知識・技術・態度を面接で表現できるようにする	30				◎							○
		3. 公務員試験で求められる知識・技術・態度を論文で表現できるようにする	30				◎	○						